



tsubaki lab

地域資源を活用し、人々の暮らしを豊かに

合同会社ツバキラボ



tsubaki lab

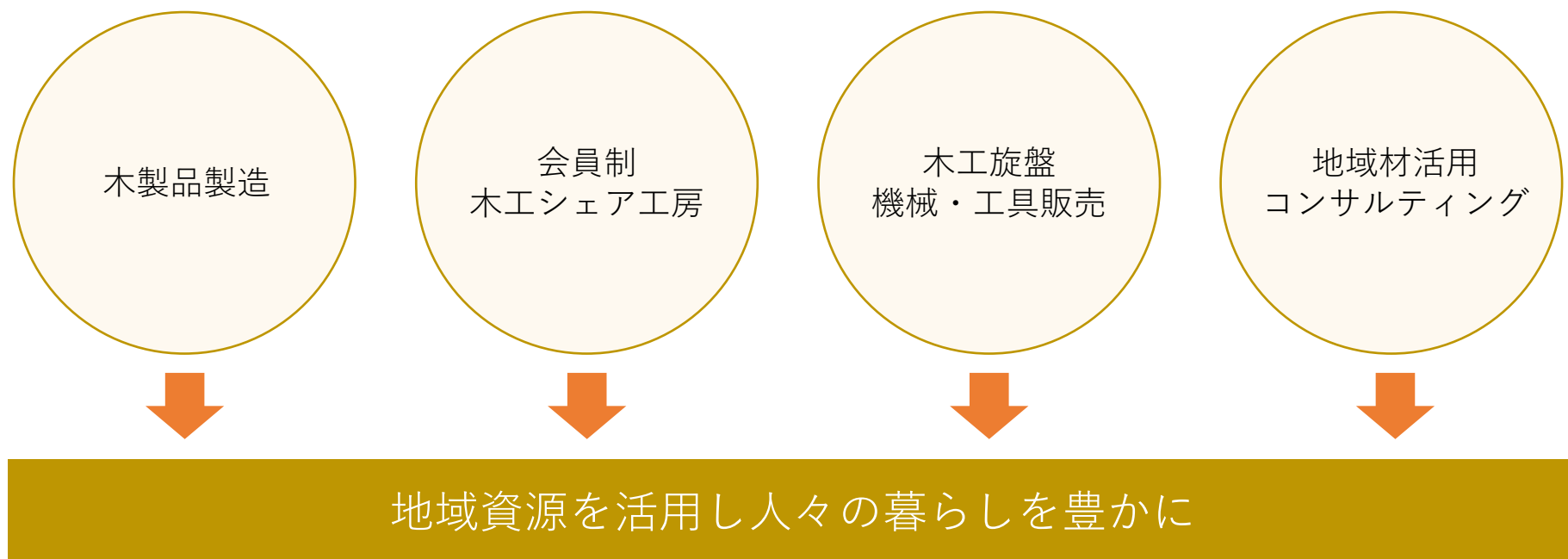
Purpose

地域資源を活用し、人々の暮らしを豊かに

社名	合同会社ツバキラボ
所在地	岐阜県岐阜市
設立	2017年5月10日
資本金	5,000,000円
代表者	和田 賢治
従業員	社員7名（パート含む）

ツバキラボの概略

4つの事業柱



ツバキラボの事業①：木製品製造

小さな木工品から家具や大型の遊具、小屋など岐阜県産材を使用して制作



ツバキラボの事業②：会員制木工シェア工房

一般の方が本格的な木工に取り組める教室やシェア工房を運営。会員は全国から延べ240名。





木工旋盤

気軽に取り組める木工
木のものづくりと暮らしのつながりが強く感じられる
身近な資源を少なくとも活用できる

教室・シェア工房



ツバキラボの事業③：木工旋盤 機械・工具

プロ、ハイアマチュア向けのラインナップ



CNC木工旋盤



刃物
52 Items



シャープニング
18 Items



ツールレスト
5 Items



チャック
13 Items



センター
3 Items



コアリング
3 Items



ホローイング
14 Items



便利ツール
9 Items



安全
2 Items



ウェア
3 Items



書籍
1 Items



塗料
8 Items

木工旋盤の普及のために



書籍



オンラインコミュニティ



ツバキラボの事業④：地域材活用コンサルティング



ものづくりとまちづくりの掛け算

地域に眠る資源をいかに活用するか⇒地域材流通の仕組みづくり

自治体や企業を対象にプロジェクト立案、運営等実施

イベントプロデュースも

アベマキ学校机プロジェクト

美濃加茂市のアベマキを地元の小学校の机の天板として活用



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD

林野庁長官賞



KIDS DESIGN AWARD 2018

審査委員長特別賞





岐阜県美濃加茂市

旧櫻井邸：里山ウェルビーイング共創拠点

地域資源から付加価値を生み、里山に新たな役割を付与する中心的な拠点へ
(人々の生きがい、やりがいを生み、心身ともに健康な暮らしを提供する)



地域材流通

整備隊の交流・活動
材の買い取り
製材・乾燥
材の販売



プロダクト開発 プロジェクト推進

商品開発・販売



工房

木工旋盤レッスン
シェア工房の運営
商品生産



地域交流 文化継承

集いの場の提供
レンタルスペース
ワークショップ



地域資源の付加価値化

里山ウェルビーイングの実現

地域材流通/利活用の仕組みづくり

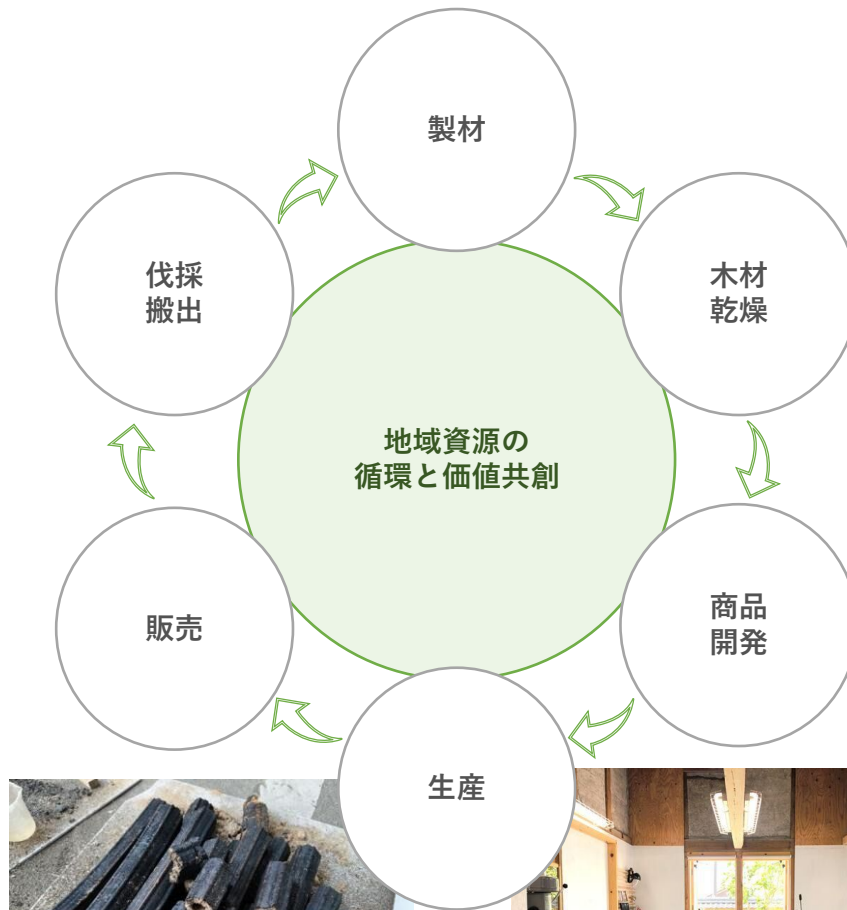
多様な里山資源を活用するには、木材が伐採、搬出されてから、商品になるまで、それぞれのプレイヤーが必要であり、全体を俯瞰して互いをつなぐコーディネーター、または、組織体/枠組みがあるかどうかのカギ



簡易製材機



製材機



燃料化（ブリケット・炭生産）



シェア工房



バイオ乾燥機 / ビニールハウス乾燥



協業によるプロダクト開発